

菅生交流

川崎市立菅生中学校
学校通信 第277号
(2024年度 第7号)
令和6年11月1日



フラワーガール

校長 山本 篤

草花は、見る人に安らぎと優しさを与えてくれます。菅生中学校の敷地内には、数多くの草花が自生しており、自然豊かな菅生の郷を象徴しています。その紹介も兼ねて、草花の写真をA4判サイズに拡大してラミネートし、花言葉を添えて校内に掲示しています。

それらの自生している草花以外にも、生徒達が種を蒔き、苗を植え育てているものもあります。その役目を担っているのが、福祉委員会です。年間を通じて活動をしており、春はピオラ・パンジー、夏はマリーゴールド・ペチュニア・ポーチュラカ等が花壇を彩り、菅生中学校に華やかさを届けてくれています。中でもバザーで販売されるサツマイモは、6月に苗植え、その後は水やり雑草取り等の作業が続き、11月に待望の芋掘り、懇話会の協力を得て体育館裏の畑で行われるメインイベントです。昨年は、なんと400個以上の大収穫でした。

福祉委員会の生徒達は、実に楽しそうに活動してくれていますが、その他の生徒の中にも草花が好きな生徒が沢山います。この夏は猛暑続きで、水やりをしても直ぐに乾いてしまい、草花にとっても大変辛い暑さのようでした。そんな窮状を知ってか、水やりをしてくれる花好きの女子生徒ボランティアが現れました。朝登校すると、自発的にジョーロで水やりをしてくれるのです。何時しか、その生徒達は“フラワーガール”と呼ばれるようになりました。

少し話は逸れますが、私が担任駆け出しの頃、先輩教師から、「担任を持ったら、教室で花を育てなさい。花はクラスを和ませ、優しい生徒にしてくれる」と、言われました。その理由を尋ねると「花は、言葉を使えない。水をやらなければ萎れ、肥料を与えなければ元気がなくなり、日に当てなければヒョロヒョロになってしまう。それを言葉で訴えることができないのだ。だから、人が普段から手入れをしなければならぬ」と、そこには、花も生き物で命があり、種を蒔き苗を植えた人には育てる責任があるのだという、花に対する愛情としっかりと世話をする。そして、命を預かっているのだという使命感を感じました。

“フラワーガール”達は、猛暑で萎れた花を見て、居ても立っても居られなかったのかも知れませんが、命を大切に優しい心を持つ生徒が、菅生中学校には沢山いるのです。職員室でも話題になり、私はもちろん先生方もとても嬉しそうでした。秋は、春に咲くピオラやパンジーを植えるシーズンです。花壇が華やかに彩られる春が楽しみです。

「相談室」

菅生中学校には、様々なことにお困りの時に、生徒の皆さんや保護者の方が利用できる「相談室」があります。スクールカウンセラー（SC）がお話を聴きサポートさせていただきます。お気軽にご利用ください。

スクールカウンセラー（SC）：越水三佐子（公認心理師・臨床心理士）

※毎週火曜日 9:00～17:00 直通電話 044-976-6657

11月の予定：5日、12日、19日、26日



文化フェスティバル

10月19日、文化フェスティバルが行われました。体育館では演劇、国語科、各学年の総合の発表、コンピュータ部、吹奏楽部のステージ発表がありました。どの発表も観客を楽しませるような演出があり、発表を観ていた生徒は真剣に、時には笑顔を見せながら鑑賞していました。文化部、各学年にとって大きな舞台発表の機会であるため、出演者全員がしっかり準備をし、当日は堂々と発表を披露することができました。



最優秀賞ポスター：畠山 琴帆さん(2-3)

引退前に、1・2年生と一緒に演奏できて良かったです。今まで先生に指摘してもらったところを意識しながら楽しんで演奏できました。たくさん反省点もあるので、定期演奏会に向けて、もっとよい演奏ができるように、練習していきます。

吹奏楽部 大野 奏琴さん

校舎改修工事で部室が使えない中、なんとか工夫をして、部員の「好き」を形にし、皆さんに発表することができて良かったです。

コンピュータ部 石塚 愛さん

練習と違い、全学年が見てくれるので、部員全員が緊張しながらも、今までやってきたことを生かして全力で取り組めたと思います。

演劇部 伊藤 央羽さん

武道場で行なわれた個人作品の展示では、一人ひとりが時間をかけながら思いを込めて作った多くの作品に心を打たれました。書道部や各学年で作った総合や美術の作品など、それぞれの作品にたくさんの良さがありました。多くの保護者の方にもご来場いただき、半日でありながらも生徒の思いの詰まった、思い出に残る文化フェスティバルとなりました。

私たち書道部は文化フェスティバルが今の1～3年生で行う最後の製作活動でした。文章を考えると字や絵をかくときも、何度も試行錯誤してようやく完成した作品だったのでたくさんの人に「書道部すごかったよ!」と言ってもらえてとても嬉しかったです。書道部の作品を見てくださりありがとうございました。

書道部 渡会 羽菜さん

ステージ発表がなかった分、展示の部ではイラストやデッサン、工作など幅広い作品の制作に各々力をいれました。見学の際に「すごい」「綺麗」などと言っていただけで、楽しんでもらえて、作った甲斐もありましたし、とてもうれしく思っています。

創作アート部 片岡 奈緒さん

3年総合



1年総合

2年総合



弁論

川崎市中学校駅伝大会

10月25日、等々力競技場にて川崎市総体の締めくくりとなる男女駅伝大会が行われました。今年例年よりも多くのメンバーが駅伝部として集まり、各部活の精鋭たちが部活動の枠をこえて共に練習に励みました。当日、選手として登録されたメンバーたちは、一緒に練習してきた仲間や菅生中全員の気持ちを背負い、各区分をしっかりとすきをつなぎ、立派に走りぬきました。

展示見学



女子

- 1区 三浦 由衣(1年 剣道)
- 2区 飯島 桃佳(1年 剣道)
- 3区 石川 莉々子(2年 バスケット)
- 4区 豊田 千晴(3年 バスケット)

男子

- 1区 佐名手 蒼大(3年 バスケット)
- 2区 岡田 樹(1年 水泳)
- 3区 白川 玲偉(3年 吹奏楽)
- 4区 齊藤 翔(2年 サッカー)
- 5区 吉田 颯羽(1年 バスケット)